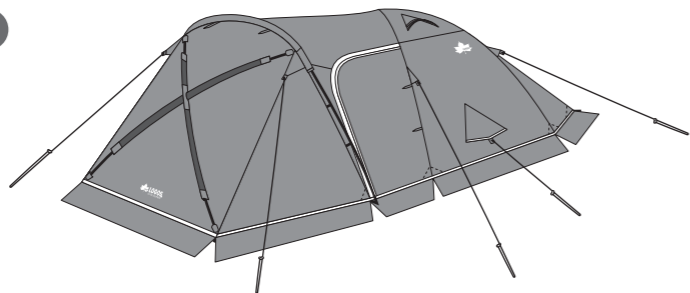


設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表 ()は素材

フライシート×1 	インナーテント×1 	インナーフレーム【黒】×2 (グラスファイバー) 直線型・長	リッジフレーム×1 (アルミ) コの字型	パネルフレーム【黒】×2 (グラスファイバー) 直線型・短
キャンピーポール×2 (スチール) 	ペグ (スチール) ※サービス品	ロープ 2.5M×4 3M×4 1.2M×2 ※一部装着済み	ハンマー×1 ※サービス品	メッシュ×1

設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

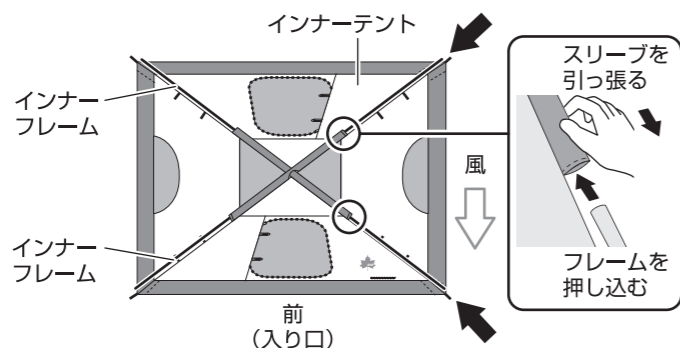
1 インナーテントを広げて、インナーフレームをスリーブに押し込む

- すべてのフレームを連結して組み立てる。

スリーブに通す際、フレームは必ず押す。(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。



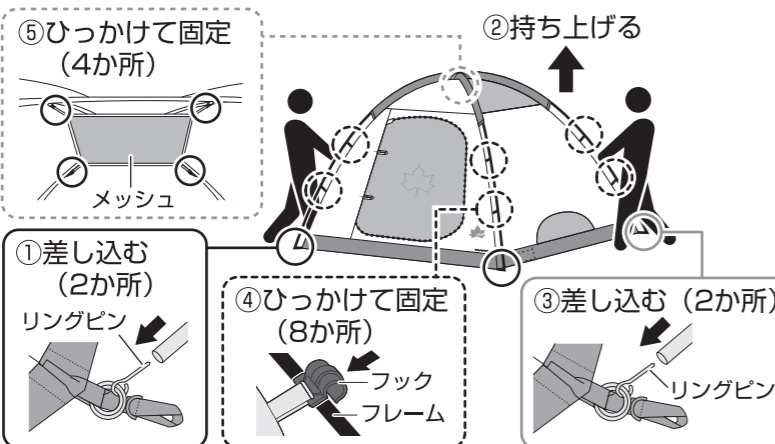
2 インナーテントを持ち上げながら、フレーム先端にリングピンを差し込む

- インナーテントの天井(内側)に、メッシュを取り付ける。

必ず両側から2人以上で持ち上げる。(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)

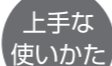
Point

- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。
- メッシュは、小物などを置く棚として使用できます。



注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)



上手な使いかた

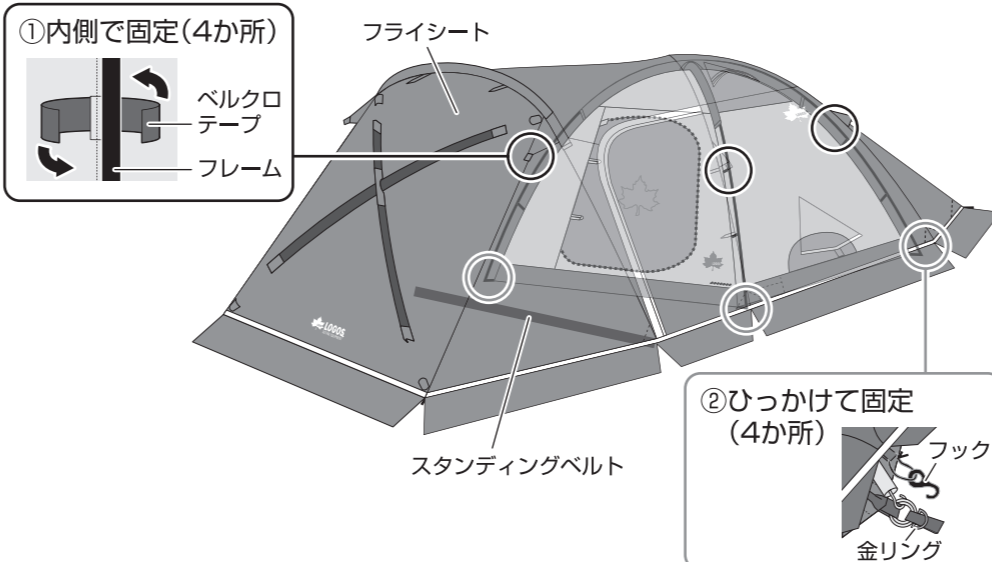
- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- メッシュに、極端に重い物やメッシュからはみ出る物を載せない。(落下によるけがのおそれ)

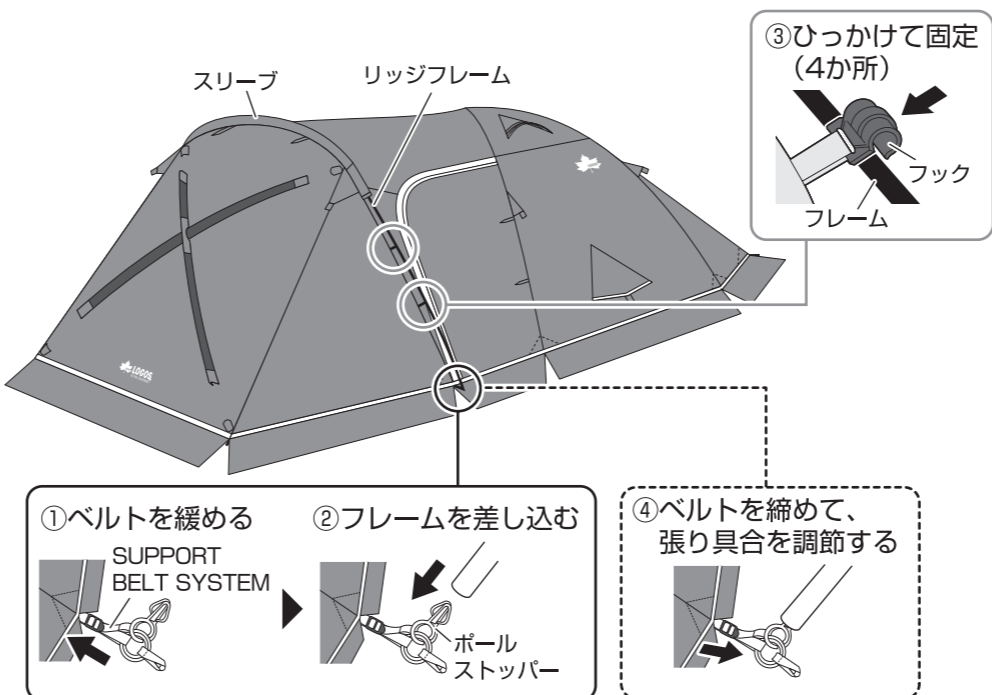
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のペグとハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

3 フライシートをインナーテントにかぶせる

- スタンディングベルトのバックルは留めておく。
- フックを金リングにひっかけて固定する。



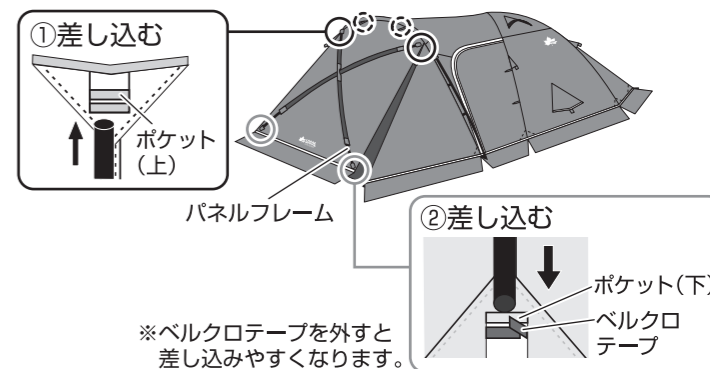
4 リッジフレームをスリーブに押し込む



※SUPPORT BELT SYSTEMについて
スタンディングベルトの先端にはアジャスターが付いています。あらかじめベルトを緩めておくことで、フレームに無理な負荷をかけずに差し込むことができます。

5 パネルフレームをスリーブに通す

- 前方のパネル面を開け、パネル面を少し持ち上げて行う。



パネル面を巻き上げる場合
パネルフレームを取り外し(取り付けず)、
パネル面を巻き上げて上部のトグルで
結束します。

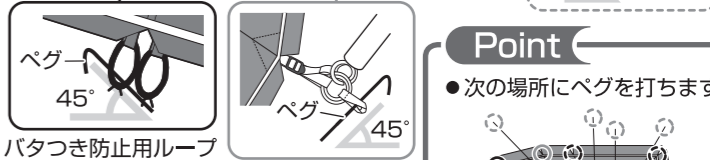
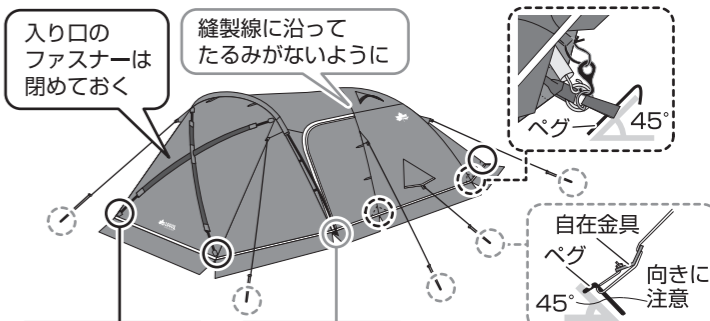
6 ペグで地面に固定する

- ペグは17か所打ち込む。
- 入り口の左右は、生地を張りながら最後に固定する。



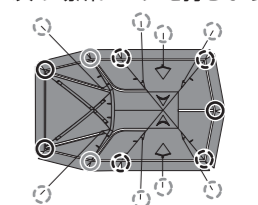
注意

- たるみがないようにする。(テントが風で飛ばされ、けがのおそれ)



Point

- 次の場所にペグを打ちます。



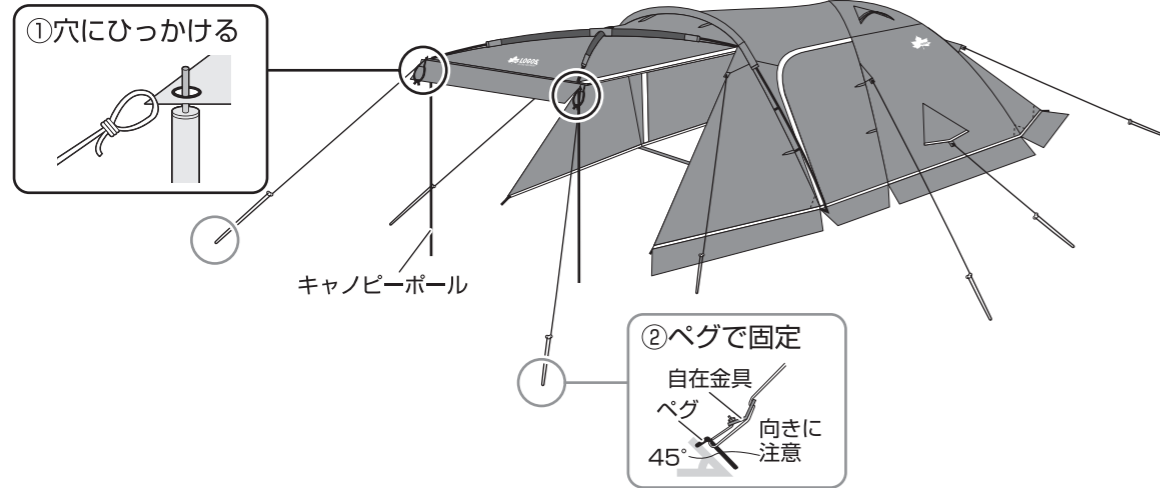
Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元:
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

■ 入り口の固定のしかた
【キャンピーポールを使用する場合】



【よしずスタイル】

